大阪・関西万博　国・大阪府・大阪市の費用負担見通し　2025年2月時点

	国	府市	うち府		
			～2025年度予算まで	2026年度予算見込み	
会場建設費	783億円	783億円	364.4億円	27.2億円	最大2,350億円を国、大阪府・市、経済界で1/3ずつ負担
夢洲地区埋立工事		21.4億円	10.7億円		
大阪メトロ中央線輸送力増強等		39.4億円	14.7億円	4.9億円	
大阪ヘルスケアパビリオン建設等		118.6億円	59.3億円	0.01億円	
日本政府館建設等	360億円				
途上国等出展支援	240億円				
会場内安全確保	255億円				
参加促進		40.2億円	20.1億円		
機運醸成等	103億円	38.3億円	17.9億円	0.6億円	
誘致に要した費用	27億円	4.2億円	2.3億円		
その他		303.1億円	73.4億円		
計	1,768億円	1,348.2億円	562.8億円	32.7億円	

会場運営費	1,160億円	「チケット収入・ライセンス収入等でまかなう」

万博関連インフラ整備計画	10.2兆円	
「会場周辺インフラ整備」 中央線延伸、夢舞大橋拡幅など		800億円
「会場へのアクセス向上」 淀川左岸線2期、北大阪急行延伸など		7,720億円
「安全性の向上」 安威川ダム建設、鉄道可動式ホーム柵整備など		25,520億円
「にぎわい・魅力の向上」 うめきた2期開発、枚方市駅前開発など		3,320億円
「広域的な交通インフラ整備」 新名神高速建設、なにわ筋線建設など		64,490億円

万博アクションプラン 「健康・医療」「モビリティ」「環境」「スマートシティ・スタートアップ」「観光・文化、おもてなし」など、万博も活用して実証や発信をする	3.6兆円

大阪府市万博推進局「大阪・関西万博に要する府市の費用について（令和7年年2月18日更新）」、内閣官房国際博覧会推進本部事務局「大阪・関西万博に関連する国の費用について（Ver.3）（2025年2月4日公表版）」等より作成